







# 那覇 (R3) 地耐力調査

那覇駐屯地業務隊管理科  
令和 3 年 4 月 2 0 日

					1 / 3
業務隊長	管理科長	営繕班長	企画係長	企画係	作成者
					

# 仕 様 書

## 1 総 則

本仕様書は、「那覇 (R3) 地耐力調査」について適用する。

## 2 場 所

沖縄県那覇市鏡水679 陸上自衛隊那覇駐屯地

## 3 概 要

プレハブ倉庫新設箇所における地耐力測定 (2棟分)

- (1) 平板載荷試験 (計2か所)
- (2) スウェーデン式サウンディング試験 (計10か所)

## 4 一般事項

- (1) 本件に際し、既設建物等に損傷を与えた場合は、受注者の負担にて復旧する。
- (2) 本件に際し、検査項目ごとに作業写真を撮影し、写真帳へ整理し監督官へ提出すること。
- (3) 作業実施日は、事前に監督官と調整し行うこととする。
- (4) 本件に際し、基本的に駐屯地内の電気・水道を使用することはできない。やむを得ず使用する場合には仮設メーターを設置し、使用料を徴収する。
- (5) 入出門及び交通規制等、駐屯地内での行動は、駐屯地諸規則及び監督官の指示に従う。
- (6) 施工に際し現地確認を実施し、疑義、相違及び不明な点が生じた場合には監督官と協議し、その指示に従うものとする。

## 5 特記事項

### (1) 平板載荷試験

- (ア) 平板載荷試験はJGS 1521(地盤の平板載荷試験方法)による。
- (イ) 反力装置は実荷重による方法又はアンカーによる方法とし、試験内容等に適合したものを使用する。
- (ウ) 試験地盤面は乱さないように注意し、載荷板の中心から1.0m以上の範囲を試験地盤面として水平かつ平坦な面に仕上げる。
- (エ) 所定の深さで予定する試験地盤面に達しない場合、又は湧水がはなはだしい場合は、監督職員と協議する。
- (オ) 試験は地盤面の整形後速やかに開始する。
- (カ) 試験装置の上には、直射日光や降雨を避けるために適切な覆いを施すとともに、雨水等が試験地盤面に流入しないようにする。
- (キ) 載荷板は、直径30cm以上の円形で厚さ25mm以上の鋼板とし、試験地盤面に密着させて設置する。
- (ク) 載荷方法は、荷重制御による段階式載荷又は段階式繰返し載荷とする。
- (ケ) 載荷荷重は、計画最大荷重を5～8段階に等分して設定する。
- (コ) 測定は設定した各段階ごとの荷重を30分程度一定に保ち、この間に生じる沈下量を所定の時間ごとに測定する。
- (サ) 載荷は次の状態に達したとき、監督官の承諾を受けて終了する。
  - ・載荷圧力 - 沈下量曲線が破壊状況を示したとき
  - ・計画最大荷重に達したとき

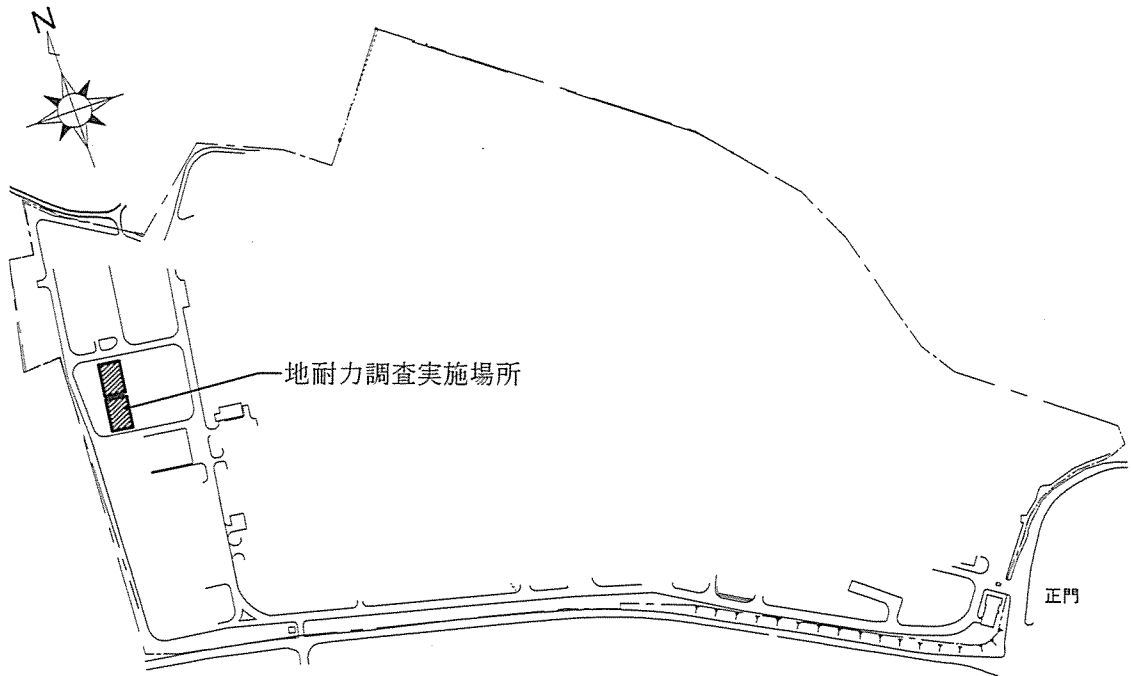
### (2) スウェーデン式サウンディング試験

- (ア) スウェーデン式サウンディング試験は、JIS A1221(スウェーデン式サウンディング試験方法)による。
- (イ) 試験中のスクリーポイントの抵抗と貫入中の摩擦音等により土質を推定し、可能な場合はその土質名と深度を記録する。
- (ウ) 試験の終了後、地下水が認められた場合は、可能な限り水位を測定して記録する。
- (エ) 計画深度に達する前に、礫などにあたり試験が不可能になった場合は監督官と協議する。

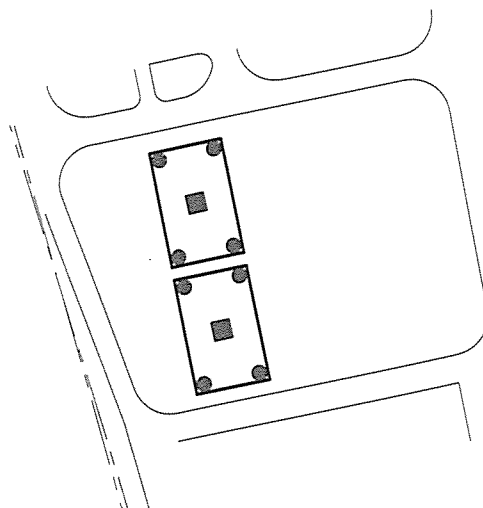
## 6 報告資料

報告資料については下記のものを出す。

- (1) 試験の位置を示した案内図及び平面図
- (2) 試験方法及び地盤状況を取りまとめたもの。
- (3) その他
  - (ア) 平板載荷試験
    - ・測定記録、載荷圧力 - 沈下量曲線、時間 - 沈下量曲線、地盤の極限支持力等をJGS 1521（地盤の平板載荷試験方法の規定に従い整理したもの
  - (イ) スウェーデン式サウンディング試験
    - ・試験結果をJIS A1221（スウェーデン式サウンディング試験方法）の規定に従い整理したもの



那覇駐屯地配置図 S = 1 : X



- : スウェーデン式サウンディング試験による測定箇所
  - : 平板載荷試験及びスウェーデン式サウンディング試験による測定箇所
- ※細部は現地にて指示する。

測定位置詳細図 S = 1 : X